

# 出張医学教育FD(相澤病院)

【日 時】平成27年7月14日(火) 18:00-18:30

【場 所】相澤病院

【参加人数】32名

【内 容】

## ○信州大学の新しい臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

## ○学生の評価について

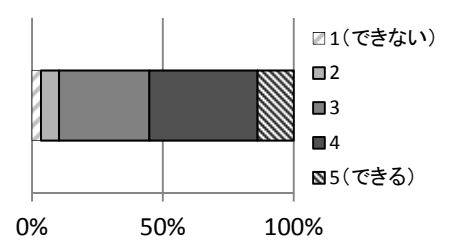
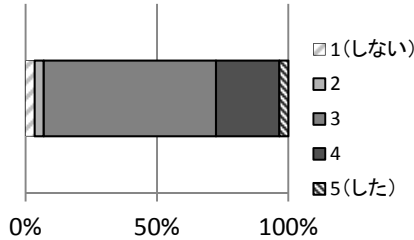
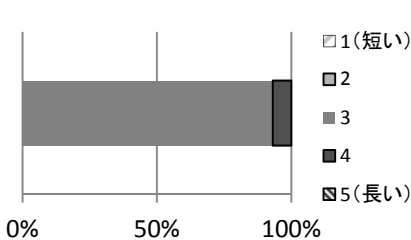
- ・ポートフォリオについて



FDの開催時間はいかがでしたか。

FDはニーズにマッチしましたか。

学生の評価ができるようになりますか。



## 参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
具体的なことが結構わかった。 新しい教育システムについて。	ポートフォリオ。 全体的な医師教育法。	ご苦労様です。 やってみないとわからないでしょうね。
新しい評価法。(複数有り)	ポートフォリオの使い方。	呼吸器内科としてできることは協力させていただきます。
医学教育の流れ、システム。	評価者によって判断の違いができるのでは？	教える自信はない。
信大での研修体制の変更。評価方法。実習前の学生の選出法。	ショーケースポートフォリオ。	カルテ記載の練習についてもフィードバックする必要はあると思います。
正直に評価して良いということ。	指導の詳細が不明なところがあったが、時間的に仕方ないと思われる。	実際には、嫌でもダメな学生にも不可はつけないと思います。
実習プログラムが変わる。評価が厳しく厳密になる。	学習レポートについては、はっきりわからなかった。	
実習評価法の活用。	学生の到達レベル。	
実習を詳細に評価する必要がある。		
信大の学生実習の概要。(学内→学外)学外実習へ向けての学生評価など。		
学生を改めてきちんと教育すべきということ。		
医学生の教育方法が昔と大きく変わったこと。		
学生実習をより改善しようとする方針については理解しました。		
主旨が明確に理解できた。フォローアップ体制がしっかりしている。		
各科毎の実習目標は厳しいと思うが参考になった。		
臨床における評価が重要であることは理解した。		
学生も負担が多くなるようですが、厳しい指導も必要なものですね。		
信大が学生教育に取り組んでいることがわかった。		